

運営状況概要書

(株6)

法人名：

秋田空港ターミナルビル 株式会社

設立年月日 昭和53年11月10日

1 法人の概要													
代表者職氏名	代表取締役社長 前川 浩	資本金	750,000千円	県出資等額及び比率	250,000千円	(33.3%)	所管部課名	観光文化スポーツ部交通政策課					
設立目的	第4次秋田県総合開発計画に基づく高速交通体系整備の一環として、激増する航空運輸需要に応えるため、大型ジェット機が就航可能な新空港の建設が進められ、これに伴い今後飛躍的に増加する航空利用者に十分対応し、また、秋田県の「空の玄関」に相応しい旅客ターミナルビルを建設し、その運営にあたる会社を設立したものである。												
事業概要	空港ターミナルビル（旅客ビル・貨物ビル）の所有賃貸及び運営管理、航空旅客・航空貨物及び航空事業者に対する役務の提供、旅行用日用雑貨及び観光土産品等の販売、広告・宣伝及び広告代理業												
関連法令、県計画	空港法、秋田県総合交通ビジョン												
役員数 (R6.7.1現在)	取締役		監査役		評議員		計		職員数 (R6.4.1現在)	正職員	出向職員	臨時・嘱託	計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤		11		34	45
	3	7	1	2			4	9	※役員と職員を兼ねている者の人数は、役員と職員の両方に計上し、職員数には括弧（内数）で表示。				

2 法人の行動計画(令和4～7年度)									
県関与のあり方	継続	経営状況	安定	取組の方向性	・安定的経営の継続 ・公益的事業の安定実施				
目標	<p>○経営体質の強化を図りながら、安定的な経営基盤を確立し、十分な収益を上げる。 【目標】売上高(百万円) R4年度:1,153、R5年度:1,228、R6年度1,228、R7年度:1,228 ○空港施設の利便性やサービスの向上に努め、顧客満足度の維持・向上を図る。 【目標】顧客満足度(pt) R4年度:75、R5年度:75、R6年度:75、R7年度:75</p>								
取組	<p>○直営売店「あ・えーる」の新たな売れ筋商品の開拓やオリジナル商品の開発に取り組み、売上の拡大を図る。 【目標】直営売店売上高(百万円) R4年度:529、R5年度:594、R6年度:594、R7年度:594 ○館内スペースの高度利用を図るため、テナントや広告主の誘致、営業活動を強化する。 ※賃貸スペースに限りがあるため、テナント・広告主撤退時に営業活動を強化する。 ○市町村や企業と連携したイベントの開催や、地域住民に気軽に空港を利用してもらえるようなプロモーション活動を展開し、集客力の向上を図る。 【目標】イベント等の開催回数 年4回 ○ホームページやSNSを活用し、国内外に向けて空港や周辺情報の発信を強化する。 【目標】ツイッターの発信件数 年52回(週1回は必ず発信)</p>								

3 財務									
①損益計算書 (単位:千円)			②貸借対照表 (単位:千円)			<主な経営指標>			
区 分	令和4年度	令和5年度	区 分	令和4年度	令和5年度	項 目	令和4年度	令和5年度	増減※
売上高	1,219,044	1,394,178	流動資産	2,201,814	1,750,482	経常収支比率 (経常収益÷経常費用)	113.3%	120.8%	+7.5
売上原価	412,095	509,348	固定資産	1,675,468	2,275,474	流動比率 (流動資産÷流動負債)	718.7%	561.4%	△157.3
売上総利益	806,949	884,830	資産計	3,877,282	4,025,956	自己資本比率 (純資産計÷負債・純資産計)	88.2%	88.6%	+0.4
販売費及び一般管理費	665,102	667,391	流動負債	306,361	311,793	有利子負債比率 (有利子負債÷純資産計)			
人件費(売上原価含む)	181,009	192,072	短期借入金			※端数処理の関係で増減が一致しないことがある。			
営業利益(損失)	141,847	217,439	固定負債	151,376	147,143	<退職給与引当状況(単位:千円)>			
営業外収益	2,533	27,961	長期借入金			要支給額	引当額	引当率(%)	
営業外費用	992	812	負債計	457,737	458,936	41,626	41,626	100.0%	
経常利益(損失)	143,388	244,588	資本金	750,000	750,000				
特別利益	108,996	21,302	利益剰余金等	2,669,545	2,817,020				
特別損失	118,493	40,631	純資産計	3,419,545	3,567,020				
法人税、住民税・事業税	39,092	70,285	負債・純資産計	3,877,282	4,025,956				
当期純利益(損失)	94,799	154,974	※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。						
③県の財政的関与の状況(事業費補助・委託を除く) (単位:千円)									
区 分	令和4年度	令和5年度	支出目的等						
年間支出									
年度末残高									

法人名：

秋田空港ターミナルビル 株式会社

I 自己評価	
<p>1 行動計画における目標及び取組の達成状況</p> <p>【令和5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高：1,394百万円（前年度：1,219百万円、目標：1,228千円） ○顧客満足度：77.5pt（前年度：72.9pt、目標：75pt） ○直営売店売上高：638百万円（前年度：541百万円、目標：594百万円） ○ツイッターの発信件数：52回（週1回情報発信）（前年度：52回、目標：52回） ○イベント等の開催回数：5回（開港記念イベント、空の日祭り、空港クイズラリー、絵画コンテスト、池田修三氏の作品展示）（前年度：5回、目標：4回） 	<p>2 経営状況</p> <p>【令和5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○当期純利益：154,974千円（前年度：94,799千円） ○経常利益：244,590千円（前年度：143,388千円） ○営業利益：217,439千円（前年度：141,847千円） ○売上高：1,394,178千円（前年度：1,219,044千円）
<p>【自己評価】</p> <p>○売上高は、行動計画に掲げた目標以上の数字となった。開港記念イベントは、来場者数が約900人と過去最大級となり好評だった。令和6年2月に outlet した旧ラウンジ跡地への新規テナントにより、更なる増収を期待している。</p> <p>○前年度に目標が未達成となった顧客満足度については、お客様対応に関してCS委員会及び部内会議で随時情報を共有し、改善に向けて取り組んだ結果、目標を達成することができた。今後は、令和6年3月に策定したユニバーサルデザイン推進計画に基づき、お客様が安全・安心・快適に利用できる環境を整え、引き続き、空港全体で満足度の向上を図ってまいりたい。</p>	<p>【自己評価】</p> <p>○売上高に関しては稼ぐ力の定着により前年度比で14.4%の増となったほか、航空旅客数の回復や台湾チャーター便の就航による購入単価増、新規テナントの開店効果等による大幅増収と省エネ対策による経費削減により当期純利益は黒字となった。</p> <p>○県からの財政的支援、累積債務はない。</p>
評価	A
II 所管課評価	
<p>1 行動計画における目標及び取組の達成状況</p> <p>【所管課評価】</p> <p>○行動計画に掲げた目標は達成されており、引き続き目標達成に向けた取組を続けていただきたい。</p> <p>○顧客満足度調査も目標を達成している。今後も、ユニバーサルデザイン推進計画による改修を含め、さらなる機能改善と満足度向上に向けた取組を続けていただきたい。</p>	<p>2 経営状況</p> <p>【所管課評価】</p> <p>○令和5年度の経常利益は黒字であり、県から運営面に関する財政的支援は行っていない。累積債務もなく、経営は安定している。引き続き内部留保の積み増しに向けて、取り組んでいただきたい。</p>
評価	A
III 委員会評価	
総合評価	法人全体の取組・運営状況に関するコメント
A	○行動計画に定める目標については全て達成しているほか、新規テナントの開店や省エネルギー対策等により財務状況も良好であることから、安定した経営状況であると評価できる。
【委員からの提言】	
<p>○各種イベントの開催やインバウンドの増加への対応など、顧客ニーズへの対応力を高めることにより、更なる増収を期待したい。</p> <p>○顧客満足度に関しては、行動計画に定める目標を達成した一方、利用者満足度の更なる向上の観点から目標値の上方修正についても検討されたい。</p>	
委員会評価を踏まえた対応方針	
<p>法人の対応方針</p> <p>○インバウンド客への出迎えを各自自治体と連携して継続実施するほか、免税売店での商品構成を利用客のニーズに合わせた品揃えとなるよう取組を進める。</p> <p>○より多くの顧客に対し、個々のニーズに合わせたサービスを提供できるよう、CS委員会による各社との情報共有を強化するとともに、ユニバーサルデザイン推進計画に基づく環境整備を行うことで、利用者満足度の底上げを図るほか、次期行動計画における目標値の上方修正について検討を進めていく。</p>	<p>所管課の対応方針</p> <p>○秋田空港利用促進協議会や自治体と連携し、国際線ターミナルでの通訳配置や出迎えの実施など、インバウンド対応を支援する。</p> <p>○空港が実施する環境整備等の事業について、実施状況を確認し、更なる利用者満足度の向上につながるよう適宜助言・指導を行うとともに、次期行動計画における目標値の上方修正を見据え、積極的に取り組むよう促していく。</p>